

紙リサイクル研修会

令和6年度 自治体の新人廃棄物担当向け研修

古紙問屋・集荷の現場から



紙

上田 晴健

全国製紙原料商工組合連合会 副理事長

東京都製紙原料協同組合 理事長

三弘紙業株式会社 代表取締役社長

2024年5月31日(金)

< 全国製紙原料商工組合連合会 >

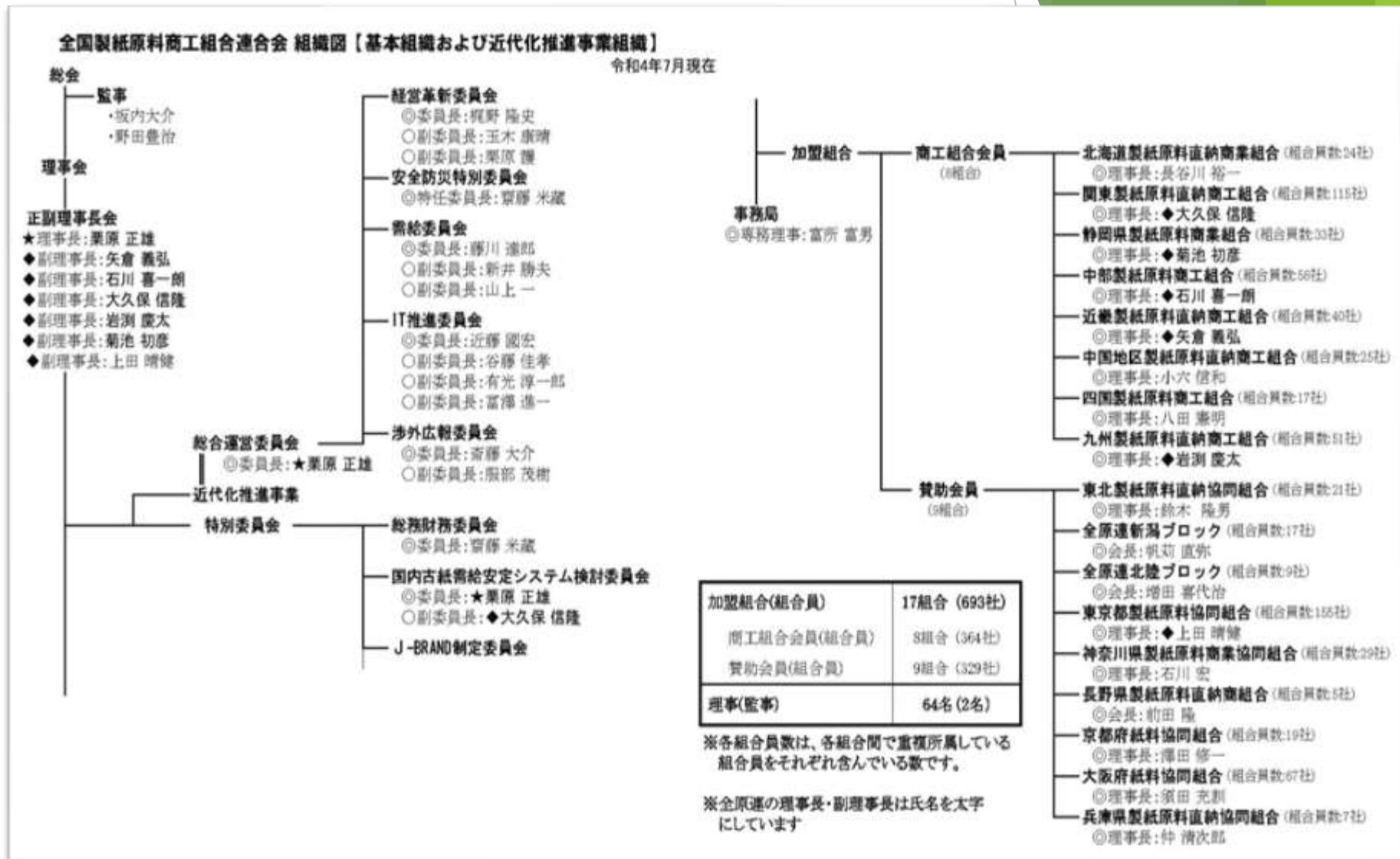


●役員(2022年7月現在)

- 理事長 栗原 正雄 (関東商組)
- 副理事長 矢倉 義弘 (近畿商組)
- 副理事長 石川 喜一郎 (中部商組)
- 副理事長 大久保 信隆 (関東商組)
- 副理事長 岩淵 慶太 (九州商組)
- 副理事長 菊池 初彦 (静岡商組)
- 副理事長 上田 晴健 (東京協組)
- 監事 坂内 大介
- 監事 野田 豊治
- 専務理事 富所 富男

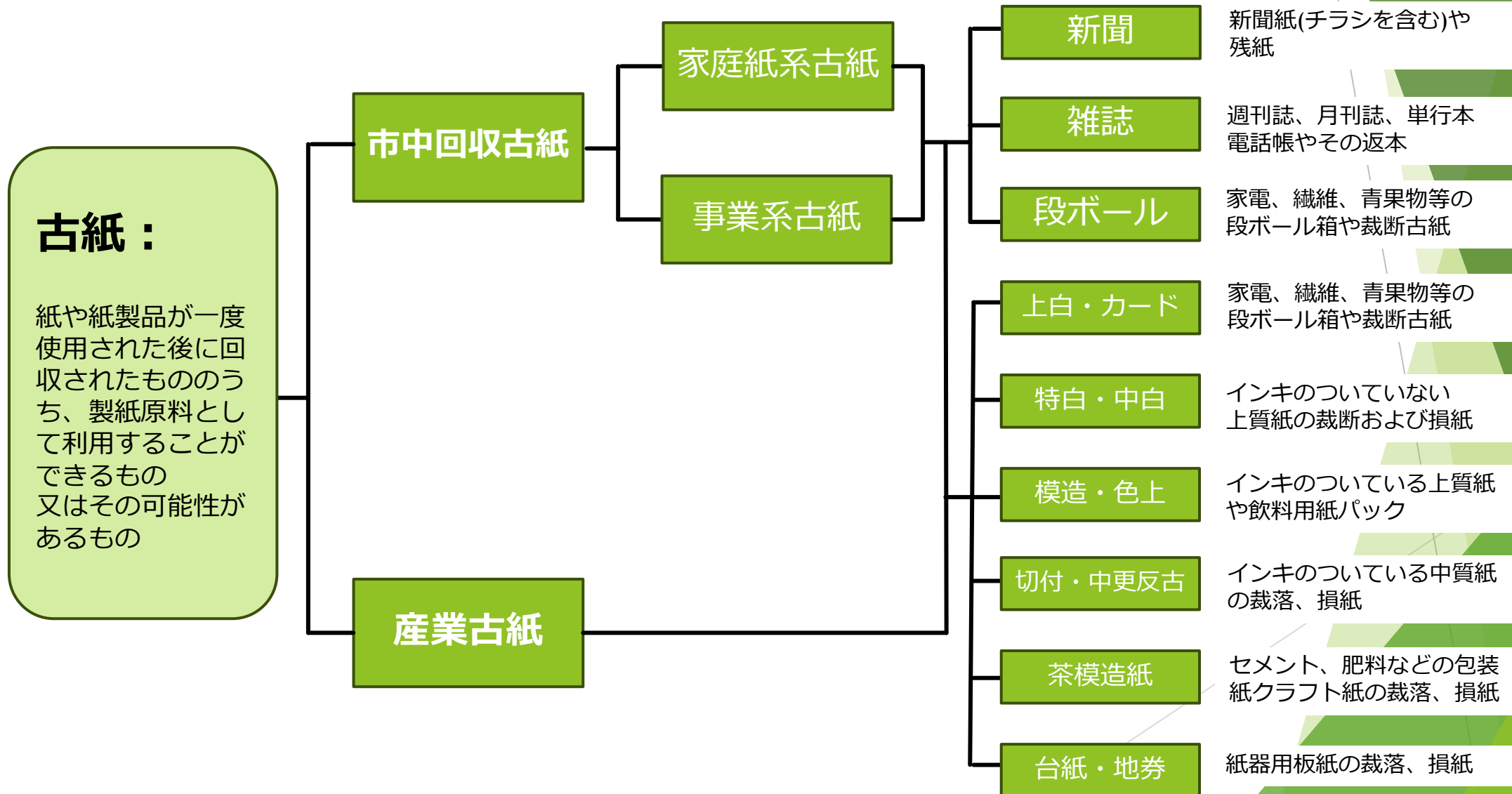
●会員数 (2022年7月現在)

17組合、693社



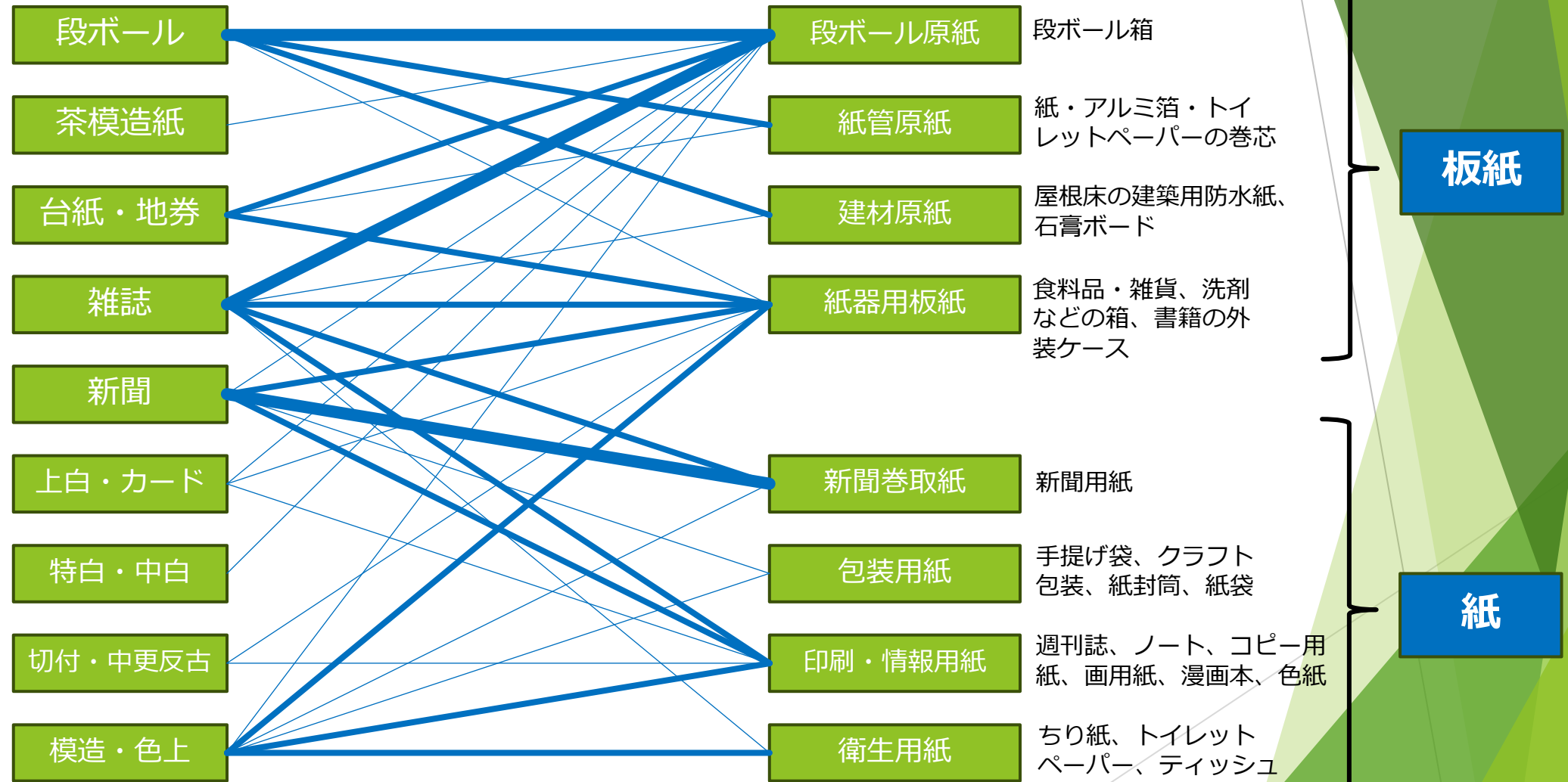
< 紙のリサイクル >

古紙の種類



< 紙のリサイクル >

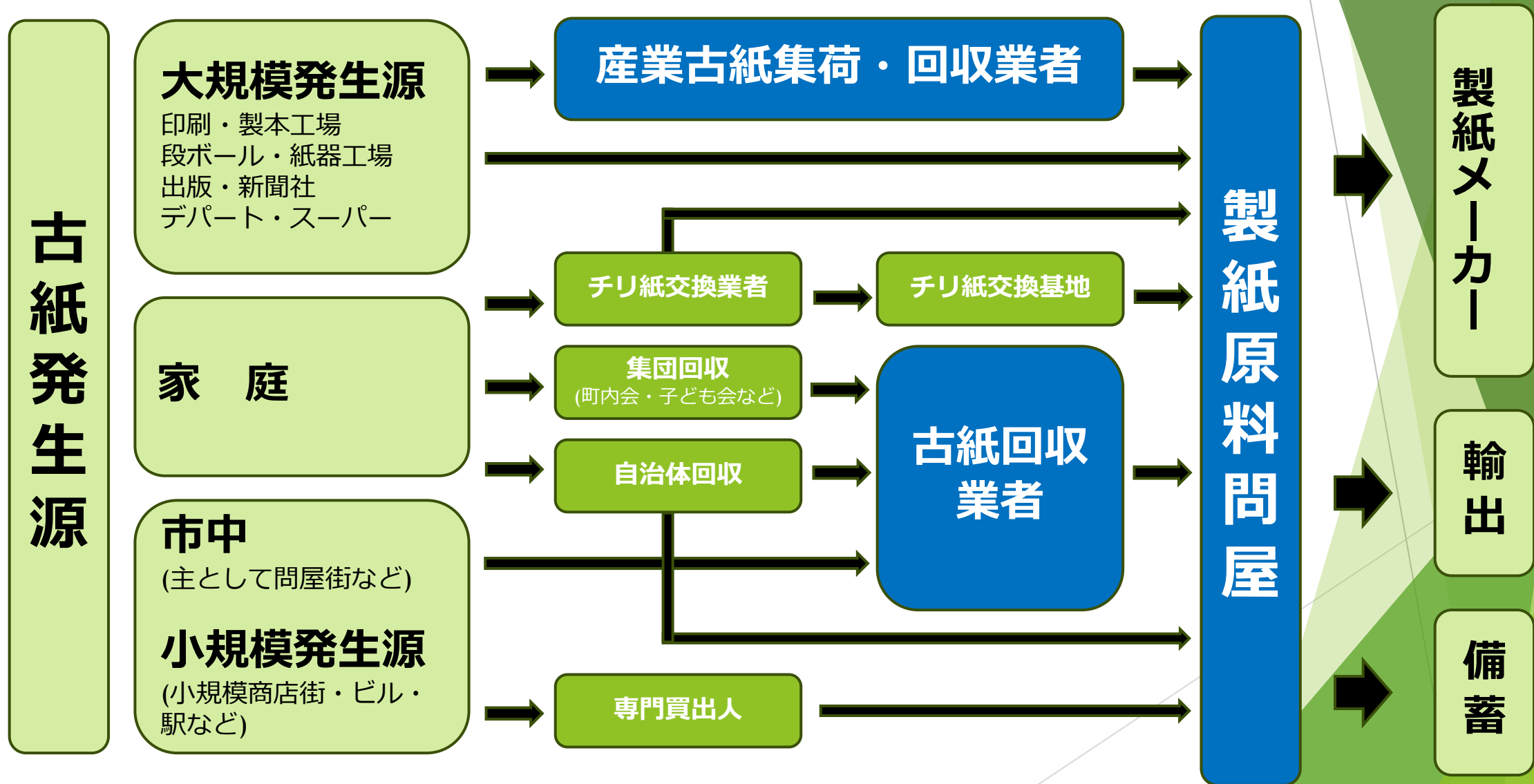
古紙の用途



——— 消費量：1,000千トン/年以上
 ——— 消費量：100千トン/年以上
 ——— 消費量：10千トン/年以上

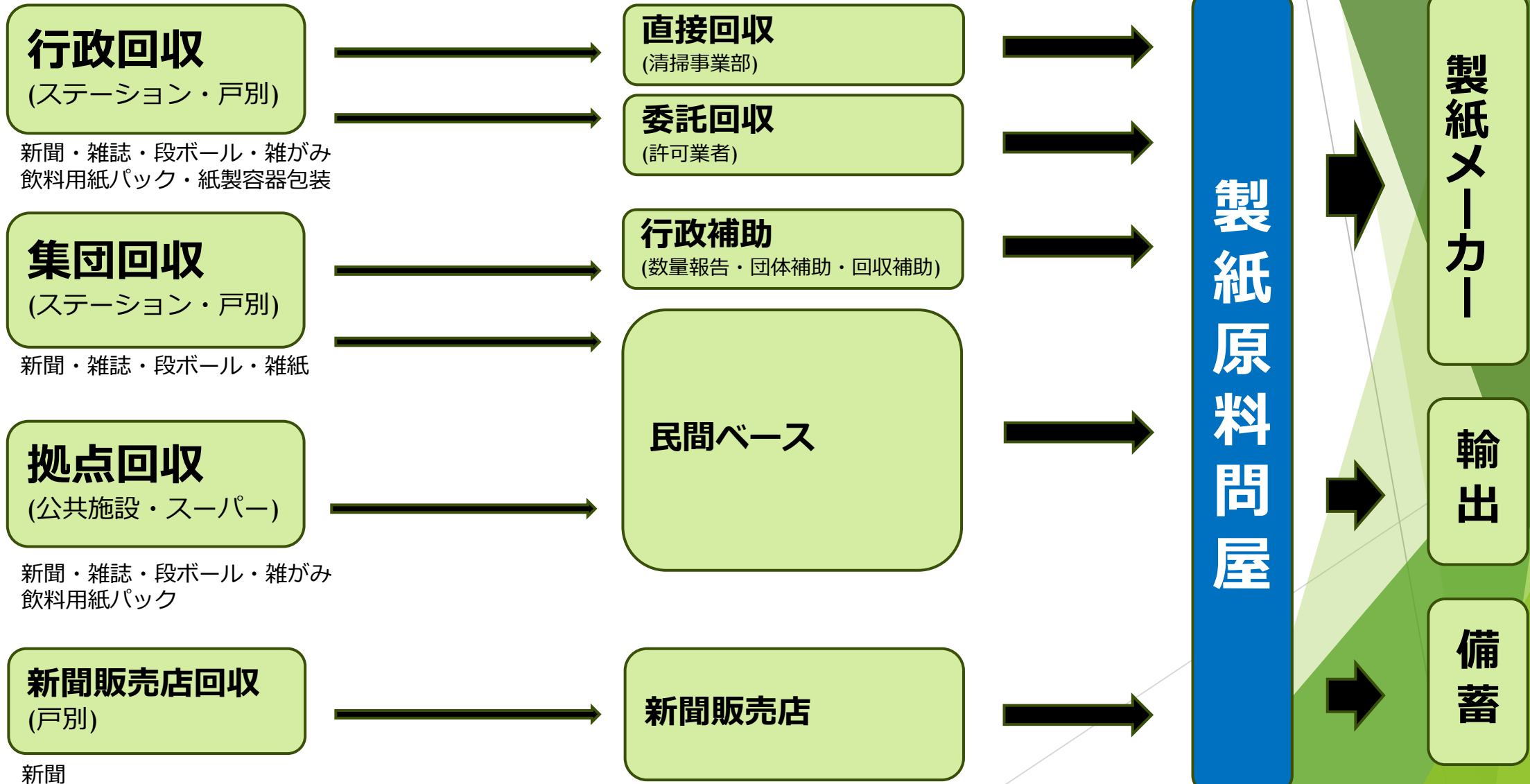
< 紙のリサイクル >

主な発生源と流通経路



< 紙のリサイクル >

家庭系古紙(市中回収古紙)の流通経路




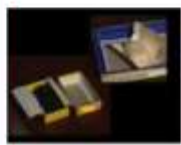








< 紙のリサイクル >

禁忌品

製紙原料に適さない紙類！ 古紙を出す際には注意してください

A 類：古紙に混入することで重大な障害を生ずるもの

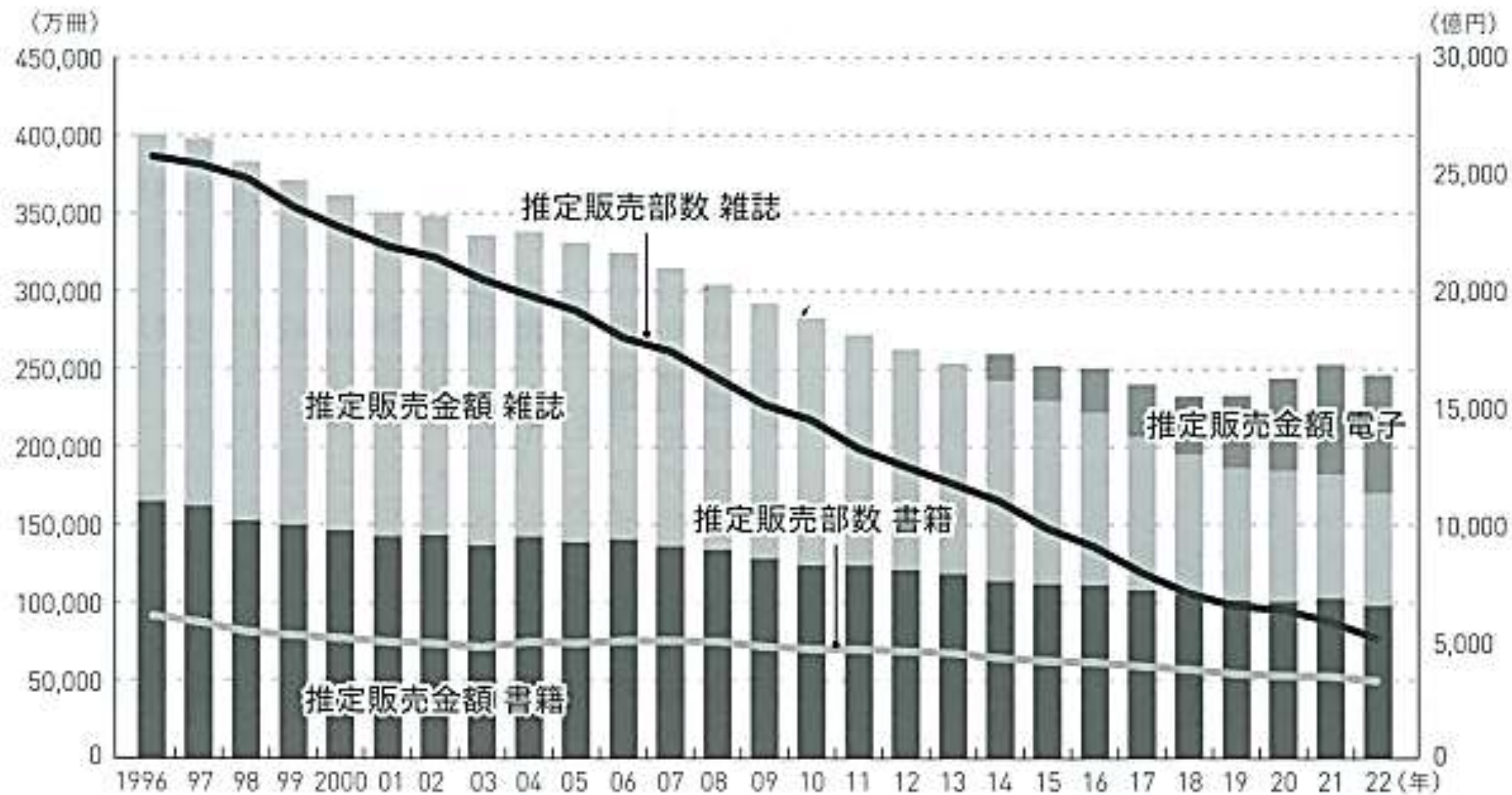
<p>カバンや靴などの詰物</p>  <p>(カバンの緩衝材)</p>	<p>昇華転写紙</p>  <p>(アイロンプリント紙)</p>	<p>感熱性発泡紙 (立体コピー紙)</p>  <p>(点字印刷物)</p>	<p>臭いのついた紙</p>  <p>(石鹸や柔軟剤の包装箱)</p>
<p>食品残渣のついた紙</p>  <p>(ピザ、ケーキなどの食品を直接包装した容器)</p>		<p>ろう(蠟)段 (ワックス付段ボール)</p>  <p>(輸入青果物・水産加工品を入れる段ボール箱)</p>	
<p>不織布</p>  <p>(マスク、簡易お手拭、包装紙など)</p>	<p>使い捨ておむつなど</p>  <p>(紙おむつ、生理用品、ベッド用トイレシート)</p>	<p>合成紙 ストーンペーパー</p>  <p>(地図、選挙ポスター)</p>	<p>石、ガラス、土砂、 金属(工具、機械部品を含む) 木片、布類、プラスチック類</p> 

B 類：古紙に混入することは好ましくないもの

<p>箔押しされた紙</p>  <p>(金銀の折り紙など)</p>	<p>建材に使用される紙</p>  <p>(壁紙、防湿シートなど)</p>	<p>圧着はがき</p>  <p>(公共料金の請求書)</p>	<p>シール、粘着テープ</p>  <p>(雑誌付録など)</p>	
<p>複合材</p>  <p>(通販用緩衝封筒など)</p>	<p>カーボン紙 ノーカーボン紙</p>  <p>(宅配便の伝票など)</p>	<p>感熱紙</p>  <p>(レシートなど)</p>	<p>印画紙</p>  <p>(写真)</p>	
<p>新聞折込チラシ、雑誌、 カタログに付随したサンプル類</p>  <p>(サンプルが付いたままの新聞折込チラシ、雑誌)</p>	<p>ラミネート紙、樹脂・アル ミコーティング紙</p>  <p>(酒パックなど)</p>	<p>硫酸紙 (パーチメント紙)</p>  <p>(オッキングシートなど)</p>	<p>着色した 果物類のクッション材</p>  <p>(色の濃いもの)</p>	
<p>防水加工された紙</p>  <p>(紙コップ、紙皿、紙製のカップ容器など)</p>				<p>B 類の「古紙に混入することは好ましくないもの」の中には、製紙原料などとして利用できるようになってきているものがありますので、地域の古紙問屋又は古紙回収業者にご確認ください。</p>
<p>(問合せ先) 公益財団法人 古紙再生促進センター 〒104-0042 東京都中央区入船3丁目10番9号 TEL 03-3537-8822(代)</p> 				

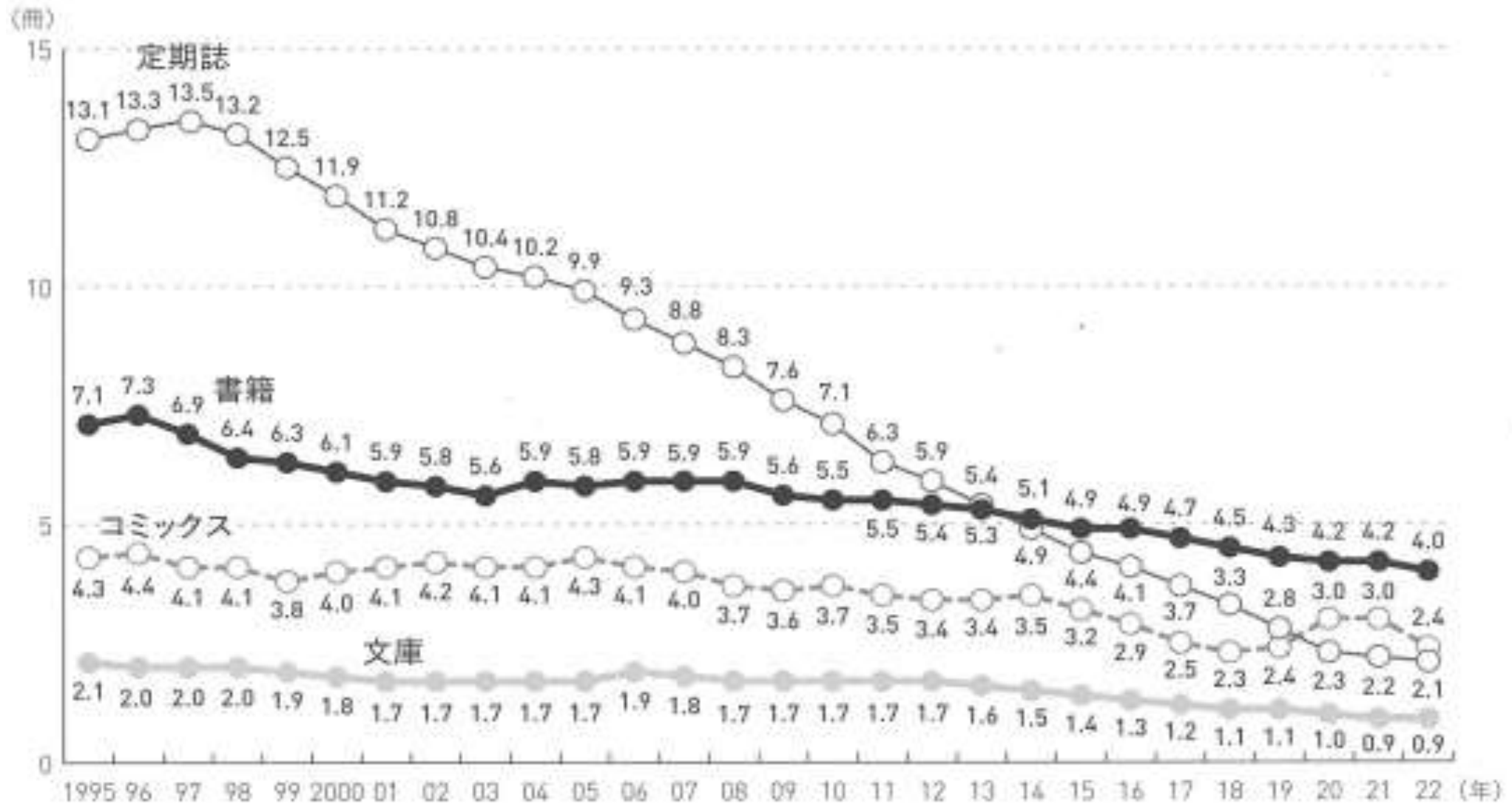
< 出版の状況 >

出版物の推定販売金額と販売部数の推移



< 出版の状況 >

人口1人当たりの年間購入冊数の推移



< 今後の紙・板紙の見通し >

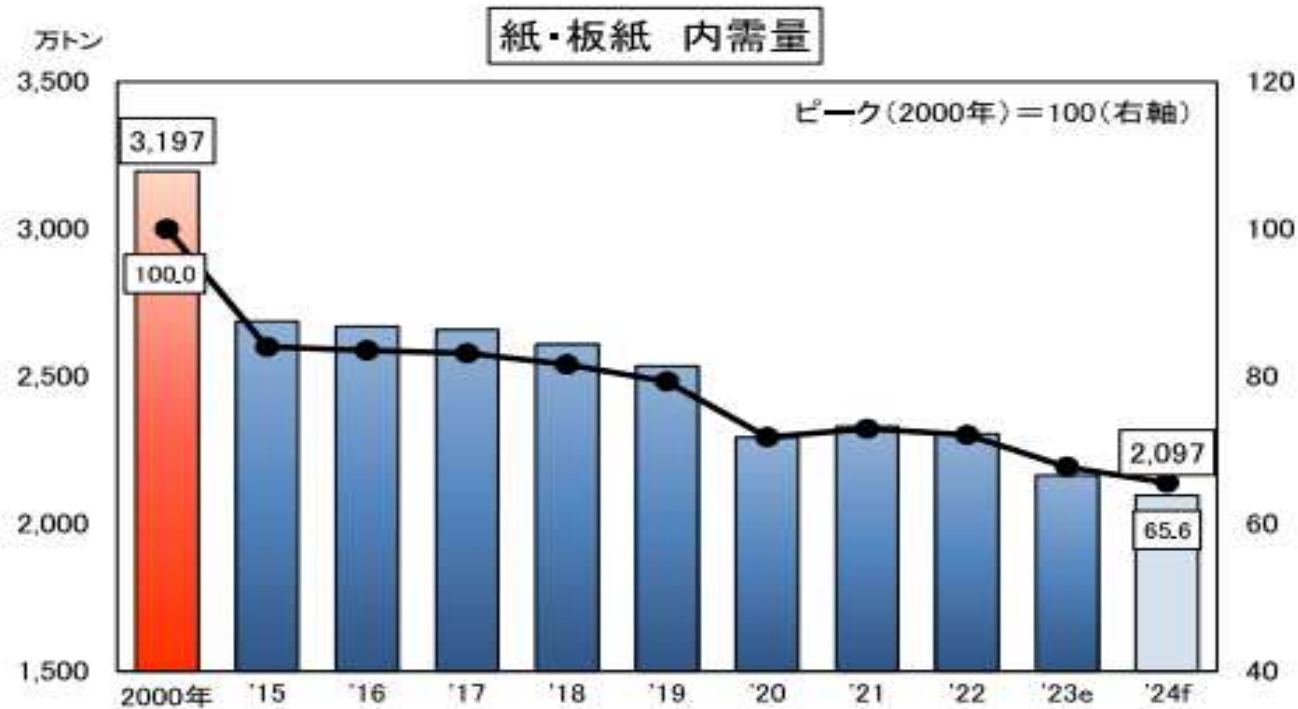
需要増減の要因

	プラス要因	マイナス要因
全般	<ul style="list-style-type: none">● 景気は緩やかな回復基調<ul style="list-style-type: none">・ 賃上げによる個人消費拡大期待・ インバウンド需要の増加● うるう年効果	<ul style="list-style-type: none">● 人口の減少/少子高齢化/人手不足● 物流2024年問題の影響● 景気下振れリスク<ul style="list-style-type: none">・ 海外経済の減速、物価動向の不確実性
グラフィック用紙	<ul style="list-style-type: none">● イベント開催<ul style="list-style-type: none">・ パリオリンピック (7-8月)● うるう年による発行日数増 (新聞用紙)	<ul style="list-style-type: none">● デジタル化の加速<ul style="list-style-type: none">・ 新聞発行部数、書籍・雑誌出版部数の減少・ 企業や自治体等の使用量減少、ペーパーレス化 (コストダウン強化、テレワークやWeb会議の定着、環境対応)・ 政府のデジタル化を推進する制度 (電子帳票保存法改正等)・ スマートフォン等の利用拡大 (コンテンツの充実)● 軽量化、グレードダウン
パッケージング用紙	<ul style="list-style-type: none">● ネット通販等ECの拡大● 食品・化粧品関連市場の底堅い動き● 電気・機械関連需要の回復● 脱プラ・減プラによる紙化の動き	<ul style="list-style-type: none">● 包装様式の変化<ul style="list-style-type: none">・ 省包装/簡易包装化 (包装資材の削減)・ 軟包装化等包装資材の他素材へのシフト (材質変更)・ マイバッグの定着● 軽量化● 封筒需要の減少
衛生用紙	<ul style="list-style-type: none">● 衛生意識の定着	<ul style="list-style-type: none">● コンパクト化 (サイズダウン、坪量ダウン)<ul style="list-style-type: none">・ 省スペース化・ 物流効率化● ハンドタオルの減少

< 今後の紙・板紙の見通し >

紙・板紙の内需量予測

紙・板紙の内需は長期にわたり減少傾向。特にコロナ禍の影響を受けた2020年は前年比9.5%減と大幅に減少し、その後も低調に推移。2024年、グラフィック用紙はデジタル化の影響で引き続きマイナスを予想、パッケージ用紙はインバウンドの増加やネット通販向けの拡大が寄与するものの、包装資材の削減などの動きもあり、全体としてはほぼ前年並みを予想。



< まとめ >

※紙・板紙の内需は、ピークであった2000年比で30%以上減少しており、デジタル化の影響や出版不況、包装資材の削減などにより大きな増加は見込めない

※需要量減 → 生産量減 → 出荷量減 → 回収量減となり、古紙の過当競争が激化

※不健全な過当競争は無理な回収に繋がり、SDG'sにも逆行

業界保全のためには

～『競争・競合』から『協力・協調』へ～

<引用>

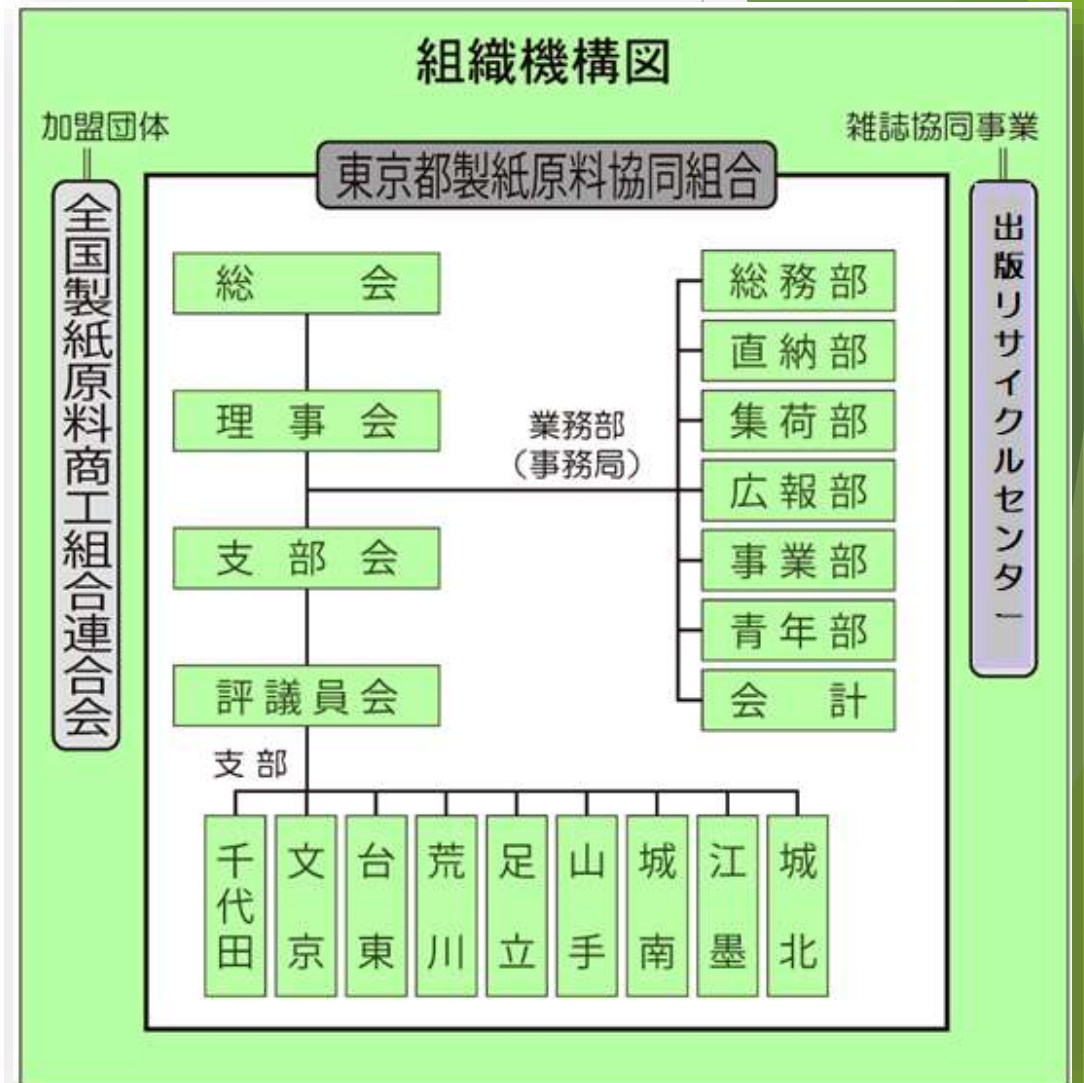
東京都製紙原料協同組合ホームページ
古紙センター刊行物『古紙ハンドブック2023』
製紙連合会『2024年 紙・板紙内需見通し報告』
出版科学研究所『出版指標』

< 東京都製紙原料協同組合 >

東京都製紙原料協同組合（略称：東京協組）は、産業古紙を始め、回収古紙などあらゆる古紙のリサイクルを担う古紙問屋や集荷業者ら143事業者（2024年3月現在）で構成された業界団体。

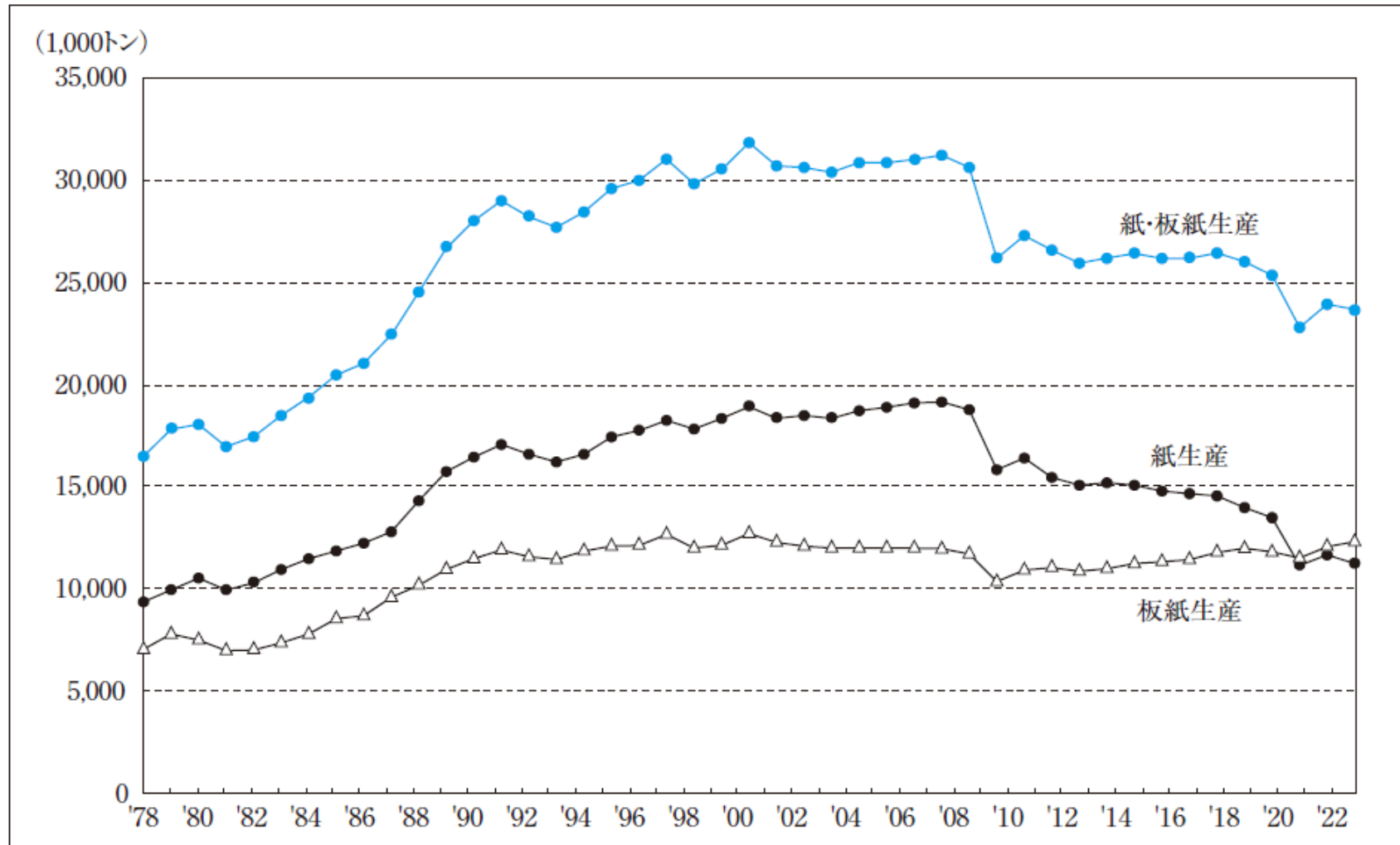
設立77年の実績があり、現在は東京都内の10支部で組合活動を実施。

各事業者は東京都内のみならず、近県でも事業を展開。産業古紙の最大の発生地である東京近郊において、皆様のもとから発生する古紙リサイクルのお手伝いをしています。



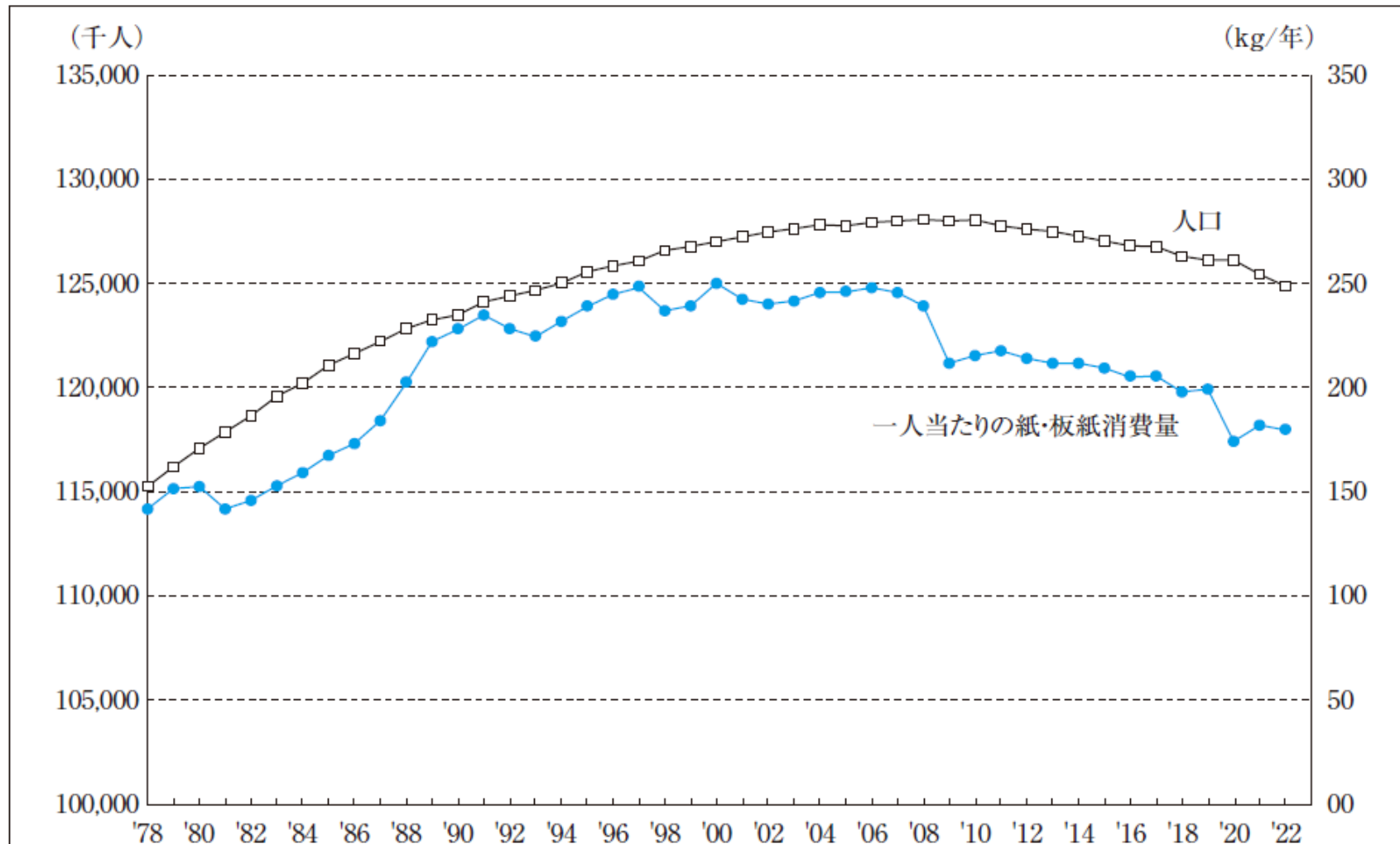
< 紙・板紙の生産と消費 >

紙・板紙の生産量推移



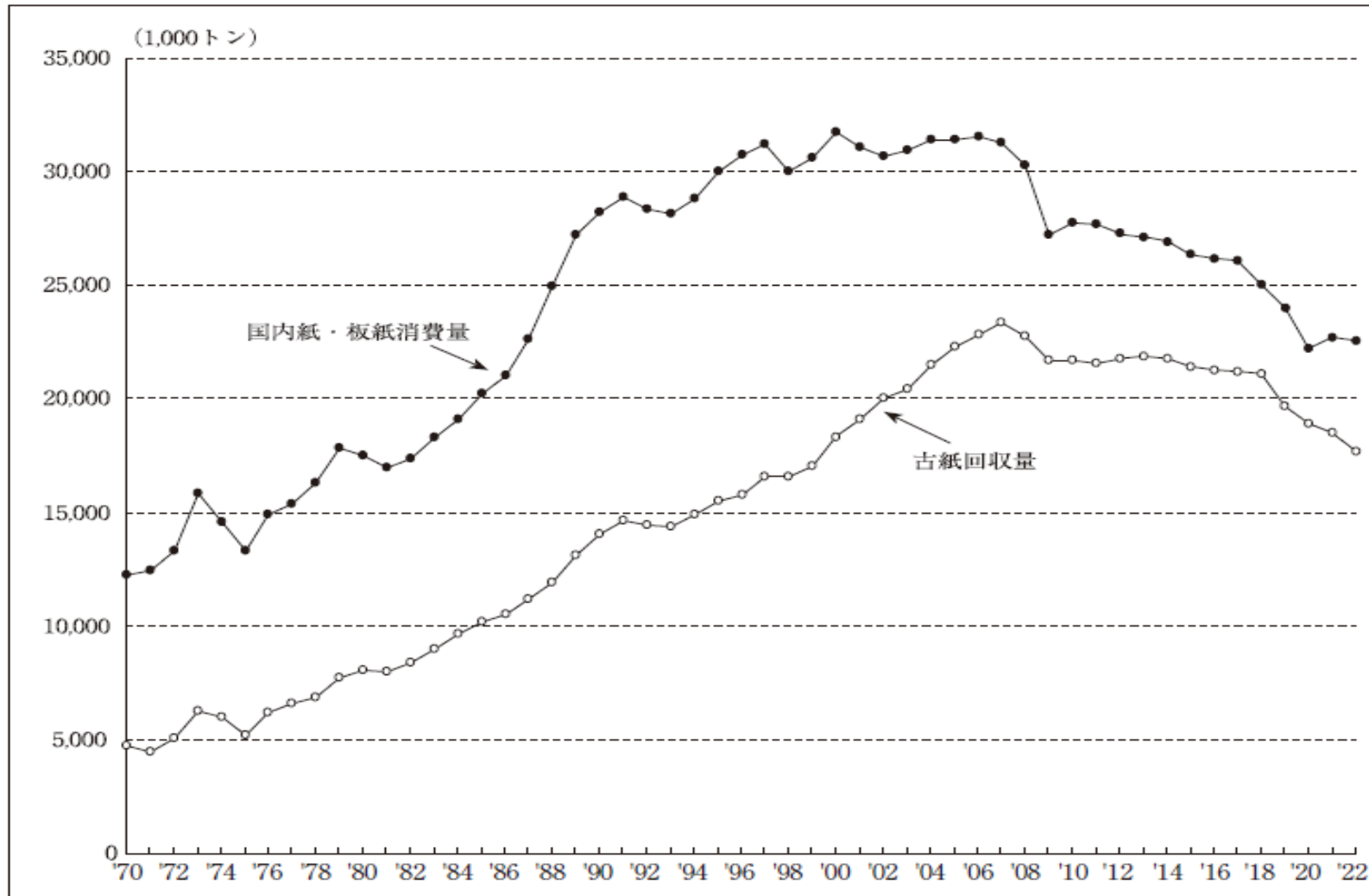
< 紙・板紙の生産と消費 >

国民一人当たりの紙・板紙消費量推移



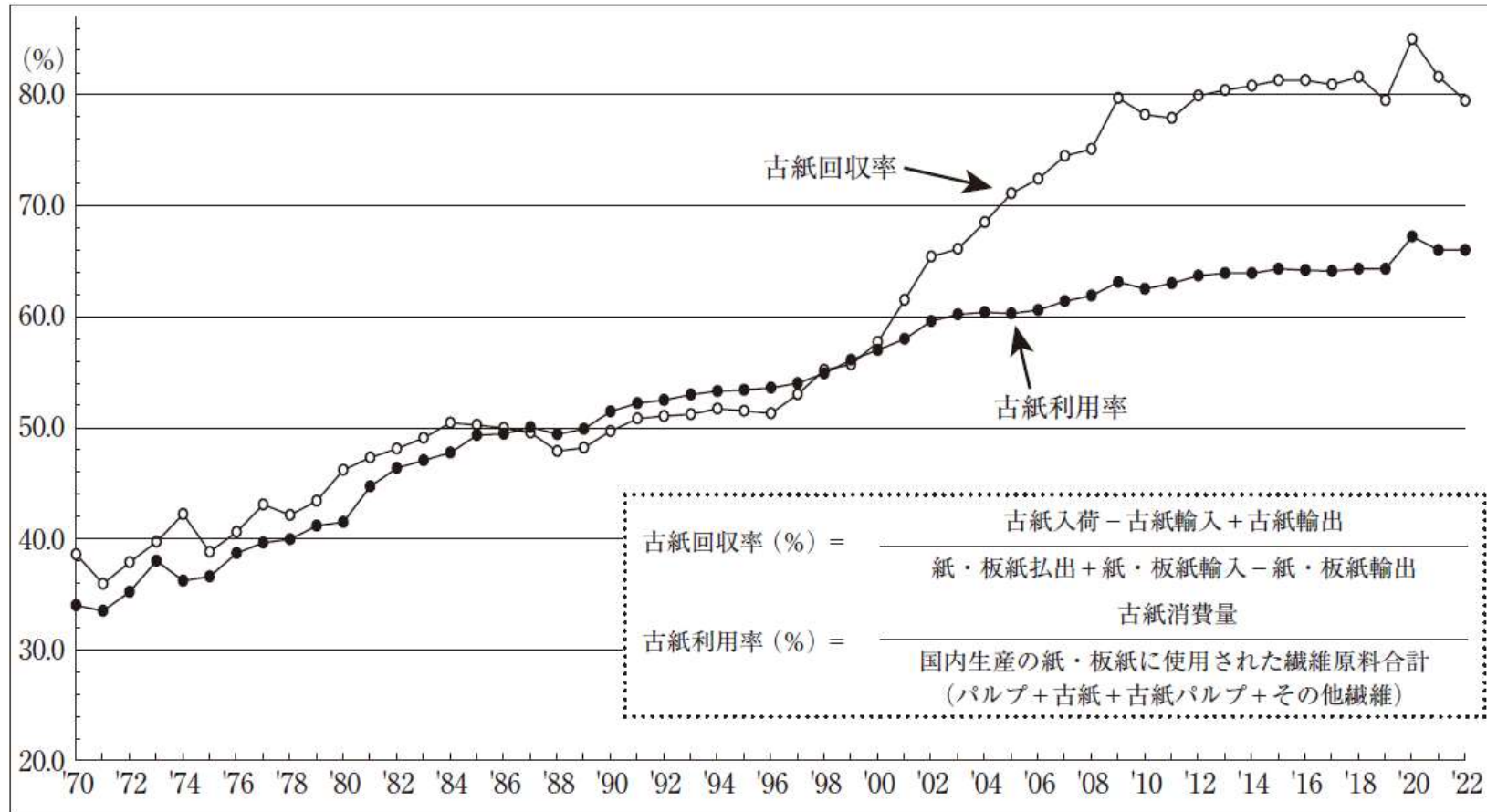
< 古紙の回収量と消費量・利用率 >

古紙の回収量と消費量推移



< 古紙の回収量と消費量・利用率 >

古紙の回収量と利用率



(単位: %)

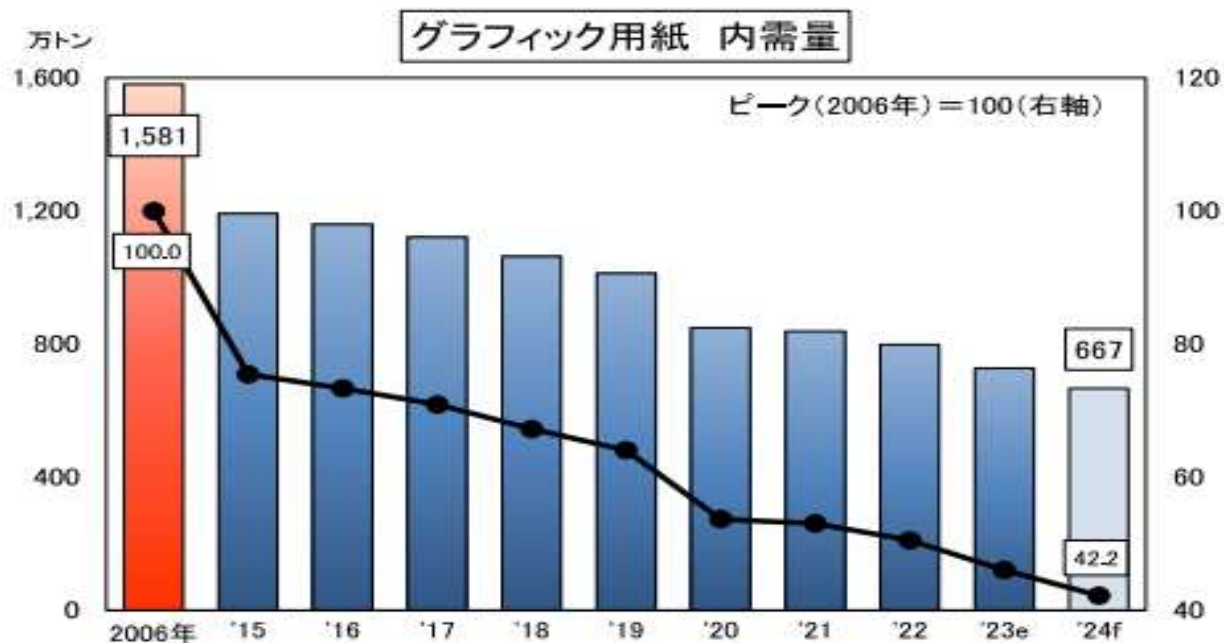
年次	2000	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
古紙回収率	57.7	71.1	78.2	77.9	79.9	80.4	80.8	81.3	81.3	80.9	81.6	79.5	84.9	81.1	79.5
古紙利用率	57.0	60.3	62.5	63.0	63.7	63.9	63.9	64.3	64.2	64.1	64.3	64.3	67.2	66.0	66.3

< 今後の紙・板紙の見通し >

グラフィック用紙の内需量予測

グラフィック用紙の内需は、情報収集手段の多様化やデジタル化などの構造的要因により減少が続いている。

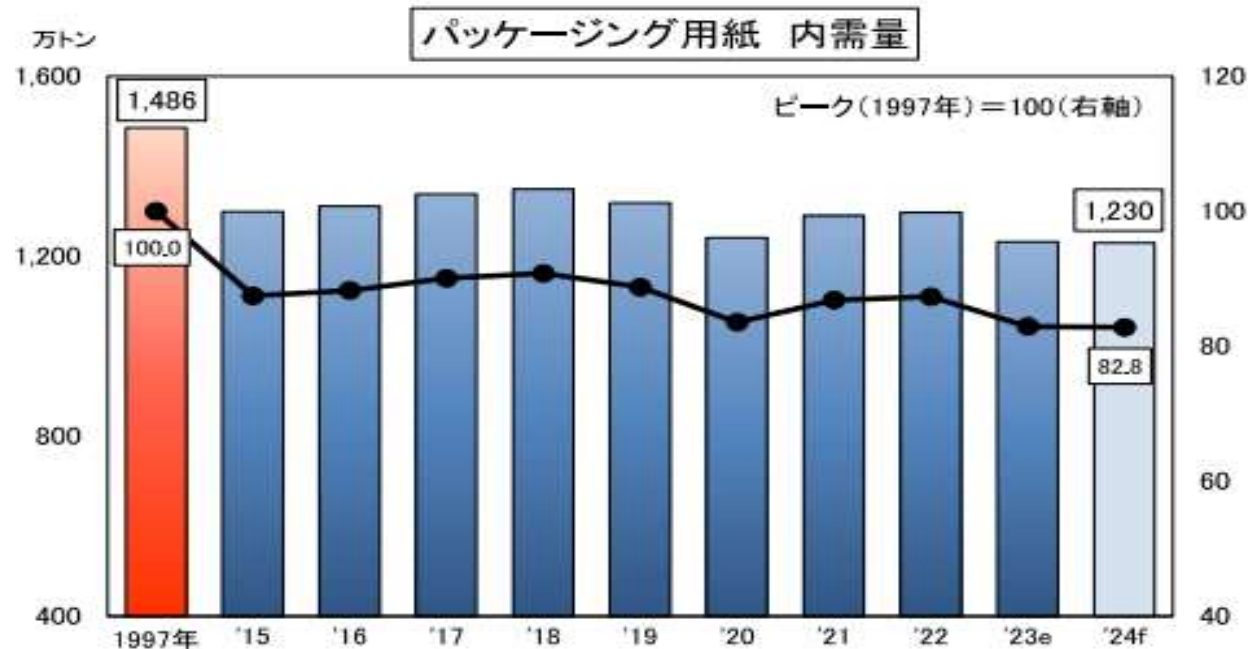
2024年は、新聞用紙、印刷・情報用紙ともに情報・広告分野を中心にデジタル化の加速などによりマイナスを予想。



< 今後の紙・板紙の見通し >

パッケージング用紙の内需量予測

パッケージング用紙の内需は、2010年以降、コロナ禍の2020年を除いて比較的堅調に推移している。2024年、段ボール原紙は軽量化などの懸念はあるが、加工食品向けやネット通販向けの増加などにより前年並みを予想。白板紙も、省包装化などはあるものの、人流増を背景として化粧品や医薬品向けの増加によりほぼ前年並みを予想。一方で包装用紙は省包装・簡易包装化などによりマイナスを予想。



< 今後の紙・板紙の見通し >

衛生用紙の内需量予測

人口減少などの構造的要因はあるものの、生活必需品として需要は底堅く、比較的堅調に推移している。2024年は、インバウンドの増加により宿泊施設などの業務用は引き続き増加し、消費者の買い控えも緩やかに改善する一方で、物流問題を背景とした物流効率の改善に加え、利便性の向上、環境負荷の軽減などを目的としたコンパクト化へのシフトが加速すると見られ、重量ベースでは前年をやや下回ると予想。

